

平成25年度学校評価

学校目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価	学校評価
	具体的な手立て	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		
<p><教育課程></p> <p>(1) 生徒の希望進路実現への取り組みの強化</p> <p>(2) 福祉教育の充実を図るとともに、特色ある学校づくりの推進</p>	<p>1)①進路別履修モデル等を作成し、保護者や生徒に明示し、履修指導に役立てる。各教科も3年間を見通した教科指導計画を作成する。</p> <p>②キャリアガイダンス等体験的な学習や進路を考えさせる学習の機会を提供する。</p> <p>(2)外部との連携などにより福祉教育を充実させる。</p>	<p>(1) ①進路別履修モデルの作成の有無、履修指導の状況、教科指導計画の作成の有無</p> <p>②体験的な学習、進路を考えさせる学習の取り組み状況</p> <p>(2) 外部との連携状況、実施状況</p>	<p>(1) ①「進路別履修モデル」を作成し、科目選択の参考資料として保護者や生徒に示した。</p> <p>②各学年で体験型のキャリアガイダンス(上級学校訪問・マナー講習など)を実施し、生徒自身自らの生き方を考えさせる機会を与えた。</p> <p>(2) 地域からのボランティアの要望は8件になり、吹奏楽部・ダンス部・写真部・ボランティア同好会・書道愛好会・福祉委員が参加した。個人参加のボランティアでは、夏休みは延べ70人、授業期間中は延べ57人。社会福祉協議会を通じた夏休み中の保育園へのボランティアも延べ26人も参加した。1年間を通してのボランティア単位取得者も3年2名、2年6名になった。3年目の1年福祉講座では、高大連携の大学・地域のNPO法人・地域ケアプラザ・社会福祉協議会等に講師16人を派遣依頼し、様々な分野の福祉教育について講義をいただき、充実した総合学習の時間となった。</p>	<p>(1) 進路・履修計画の検証を行うとともに、校内実力テストに対する生徒のモチベーションの向上や実施後の結果の有効活用などを検討する。総合学習の内容についても、検証を重ねる。</p> <p>(2) シチズンシップを意識した授業展開をさらに増やす。</p>	<p>(保護者)</p> <p>自分の将来の進路に迷っている時期に、履修モデルは大変有効なものだと思います。積極的に活用し、生徒の進路の選択の一助にしてください。1年間を通してのボランティア活動の経験者が増えてきているのが実感できます。(学校評議員)</p> <p>高校で学んだ知識を、多様な体験を通してさらに深めていくことはたいへん素晴らしいことです。今後も充実した取り組みをしてください。</p>	<p>(学校評価)</p> <p>(1)進路履修モデルを参考に、3年間を見据えた学習計画を立てることに役立った。</p> <p>(2)福祉教育実践校としてのとりくみの成果が少しずつ現れてきている。</p> <p>(改善方策等)</p> <p>(1)生徒・保護者のニーズや社会情勢の変化等を考慮し、履修モデルの検証を行う。学習意欲と自己肯定感の向上を目指し、体験型のキャリアガイダンスや総合的な学習の時間の内容を検討する。</p>
<p><生徒指導・支援></p> <p>(1) 社会や集団の一員としての、規範意識や社会貢献意識及び主体的に社会に参画する力の育成</p> <p>(2) 面談・相談体制を充実させると</p>	<p>(1) ①集団の規則や時間を守り、安全・健康に生活する力を育てる指導を行うとともに、マナーや礼儀を弁えた生徒を育成する。</p> <p>②部活動や生徒会活動・委員会活動の活性化を図り、生徒の主体性を育む。学校行事等は振り返りを行い次回の計画につなげる。</p> <p>③霧トライバंकやHR、福祉委員会等を活用し、就業体験・</p>	<p>(1) ①頭髪・服装指導の状況、遅刻の数、授業のチャイム開始チャイム終了・交通安全指導の状況、保健活動の状況、集会指導の状況</p> <p>②1年の部活動の加入率80%以上、部活動・委員会活動・生徒会等の活動状況、振り返りの実施状況</p> <p>③就業体験・ボラ</p>	<p>(1) ①年度始めに各学年で「集団行動」を実施し、集団で動くことの重要性を指導した(保体)</p> <p>②1年生の部活動加入率は82%と80%以上を達成した。部活動紹介や一斉入部などから部活動への関心を高めた。</p> <p>③「霧トライバंक」は教室配置も変わり、職員室前に移動したので、より多くの生徒が見えるようになった。福祉委員会では、3年目になる「ボランティア意識実態アンケート」を6月に実施し夏休み前に福祉・ボランティアの啓発活動にもつなげた。また「霧トライバंक」が認知されてきていて、各クラス掲示の効果はあったようだ。それぞれのボランティアの様子も掲示物として福祉委員が作成し、生徒が関心を持つように掲示した。</p> <p>③就業体験・インターンシップの周知を図った結果、参加者は35名に増加した。</p> <p>③2学年全生徒が現代文の夏期休業課題として作</p>	<p>②2年生になると70%と加入率が下がる。部活離れを防ぐ指導を検討する必要がある</p> <p>③就業体験・インターンシップ参加者数が増加した一方で、参加にあたっての心構えやマナー指導の徹底が求められている。事前指導の方法を検討する。</p> <p>③英検受験者が若干減少したので、周知の方法や適切な指導法を検討する。(英)</p> <p>④部活動や委員会を中心として全校的に元気よくあいさつできる環境づくりを行っていく。</p>	<p>(保護者)</p> <p>頭髪や服装について、保護者と連絡を密にとり、改善に努めていることが見受けられた。生徒も指導に従うものが大半であった。交通安全教育については、次年度予定されている、地区の交通安全集会に向けてのより積極的な取り組みに期待できる。</p>	<p>(学校評価)</p> <p>学校生活の全般にわたって、継続的に指導してきている成果は少しずつではあるが目に見える形で実を結んでいると考える。</p> <p>各種の講演会において学校の意図する教育内容が生徒に伝わっている。</p> <p>(改善方策等)</p> <p>就業体験・インターンシップ参加者には、事前指導で心構えやマナーについて徹底する。保護者にも文書で指導内容を周知する。通学時のバスや自転車の乗車</p>

学校目標	取り組みの内容		校内評価		学校関係者評価	学校評価
	具体的な手立て	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		
<p>ともに、生徒が安心して学び、相談できる学校づくりの推進</p> <p>(3) 通学時における自転車通学マナーの指導の徹底</p>	<p>ボランティア体験・各種コンクール・各種検定等への生徒の積極的な参加を図るとともに、事前・事後指導を行い、学力の向上を図る。</p> <p>④生徒会を中心に生徒が主体的にマナー向上に取り組む。</p> <p>(2)①学年全体で生徒の情報を共有し多面的な生徒理解に努め迅速で丁寧な対応を行う。</p> <p>②教育相談コーディネーターを活用し組織的な教育相談体制を整備する。</p> <p>(3) PTA と連携して生徒の自転車安全点検を実施するとともに、事故が起らないように通学時における法令法規に遵守する自転車の乗り方を指導する。</p>	<p>ンティア体験への参加者数、霧トライバンの認知度、福祉委員会の活動状況、コンクール・検定への応募・参加者数の状況</p> <p>④生徒会のマナー向上・挨拶運動の取り組み状況</p> <p>(2)①生徒理解の取り組み状況</p> <p>②教育相談体制の整備状況</p> <p>(3)自転車の安全点検の実施状況、自転車の安全指導の取り組み状況</p>	<p>文コンクールに作品を出品した。「税に関する高校生の作文コンクール」に応募し、2年男子1名が入选した。(国)</p> <p>③今年度、校内で実施した英語検定では、受験者数は31名(2級7名・準2級20名・3級4名)、合格者は16名(準2級12名・3級4名)であった。(英)</p> <p>④風紀委員、生徒会を中心に一週間毎朝あいさつ運動を行い、あいさつを重んじる姿勢を共有した。</p> <p>(1)①・遅刻指導対象は1学期1年1名(0名)2年7名(34名)3年44名(40名)、2学期1年10名(12名)2年20名(34名)3年63名(114名)で1・2年生は減少、3年生は、相変わらず多くの遅刻者が出てしまった。</p> <p>・学期始め、中間期末試験期間等に定期的に頭髪を学年・生活支援グループ指導をねばり強く行い保護者の協力も得て成果をあげた。衣替時の集中指導や掲示物による啓発も行った。</p> <p>・年間を通して授業中の巡回指導、休み時間や下校時の校外巡回指導を定期的に行い、チャイム着席や問題行動の未然防止に努めた。</p> <p>・携帯電話講話、交通安全教室、性感染症・エイズ予防講話、薬物乱用防止講話、喫煙防止講話を実施した。</p> <p>・集会等で自主的に整列するよう取り組み短時間で整列できるようになった。学年・全校集会で、マナー・礼儀等について話し、規範意識を高めた。</p> <p>(2)①生徒とコミュニケーションを積極的に取るように努めた。また、週1回学年会で生徒情報を共有し、学年全体で生徒理解に取り組んだ。</p> <p>②教育相談コーディネーター・養護教諭・担任が協力し、相談できる体制を築いている。</p> <p>(3)PTA と連携し自転車点検を実施、要整備自転車に整備催告の張り紙をした。また、ルール・マナーについて各担任よりホームルームで指導した。</p>	<p>①・今後もねばり強い継続的な指導を行っていく必要がある。遅刻・服装・頭髪指導をくり返す生徒に対して、保護者との連携をさらに密にし、改善を図る。来年度は衣替えの移行期間を長くするため、この期間の指導に課題を残す。</p> <p>・問題行動の未然防止に向けて、効果的な巡回指導を行う。また、遅刻については学年全体で取り組む。</p> <p>・各保健活動を通して知識を得るだけでなく、生活の中で自ら考え実践できるようにする。</p> <p>(2)・学年で情報を共有し、生徒理解に努め、学年全体で取り組んでいく。</p> <p>・引き続き、教育相談体制を確立し、生徒と接するあらゆる機会を教育相談に生かす。</p> <p>(3)・自転車通学者が300人以上いるので、引き続き安全指導・マナー教育を実施していく。</p>	<p>(学校評議員)</p> <p>問題行動に対する取り組みが手厚くなってきている。予防的指導をより実効的にしていくことが期待できる。</p>	<p>マナーや、社会生活全般にわたるモラルについて、またはSNSを介した生徒同士のトラブルの未然防止の方法などについて、職員間で研修を積むなどの、実効性のある指導体制を確立していくことなどが考えられる。</p>
<p>< 学習指導・授業改善 ></p> <p>(1) 確かな学力の育成と言語活動の充実</p>	<p>(1) ①生徒参加型、発信・表現を重視した授業や活用の視点を持った授業等を行い、授業への生徒の意欲を高め学力の定着を図る。</p>	<p>(1) ①参加型・表現・活用等を重視した授業の実施状況、生徒の授業への取り組み状況</p>	<p>(1) ①発信・表現を重視した内容等、生徒参加型授業を効果的に取り入れ、生徒の関心・意欲を引き出した。(保体)</p> <p>授業中にできるだけ英語による説明を取り入れ、生徒の関心を高めた。また、自分の考えや調べたことを英語で発表する場を設けるなどして、積極的に発信していく姿勢を育てた。(英)</p>	<p>(1) ③夏季講習期間の年間行事への位置づけを検討する。</p> <p>・生徒参加型授業を多く取り入れるための事前準備をしっかり行う。(体)</p>	<p>(保護者)</p> <p>生徒にとって分かりやすく、興味を引かれる授業の工夫を引き続きお願いしたい。</p>	<p>(学校評価)</p> <p>進路分野別に、さらに受験型に合わせて多様な説明会を実施し、生徒に必要な情報や資料を提供した。</p> <p>① 多くの生徒が、落ち着いて授業に取り組んでいる</p>

学校目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価	学校評価
	具体的な手立て	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		
<p>(2) 一般受験や公務員試験等を突破できる学力を培う支援の強化</p> <p>(3) 家庭学習の取組みの推進</p>	<p>②生徒による授業評価の実施方法・活用方法の検討・実施及び授業見学・効果的な授業研究を実施する。</p> <p>③休業中の補習・講習、平日の補習、追試などを実施し、一人ひとりの生徒に対応した指導を行い、学力の向上を図る。</p> <p>(2)①一般受験者や公務員受験者への指導を充実する。</p> <p>②進路に対応した支援体制を構築する。</p> <p>(3)宿題、課題レポートを実施し、生徒の家庭学習の定着及び学力の育成を図る。</p>	<p>②授業評価の活用状況、授業見学・授業研究状況・回数</p> <p>③休業中の補習講習、平日の補習追試等の実施状況と参加者数</p> <p>(2)①各学年での実施状況</p> <p>②支援体制の実施状況</p> <p>(3)宿題、課題レポートの実施状況</p>	<p>生徒同士で鑑賞する演奏発表会や作品のプレゼンテーションの場を設け、生徒の学び合う環境をつくり、より学習活動への充実感を得られるようになった。(芸)</p> <p>③夏季講習を実施し、参加者は昨年度より増加した。また、個々の進路に応じた小論文・面接指導をおこなった。</p> <p>③英語・数学・国語に於いて河合塾の「サテライト」講習を導入し、受験指導に向けた新たな取り組みをした。</p> <p>(2)①一般受験者や公務員受験者を対象とした説明会を複数回実施した。</p> <p>②受験型に合わせた説明会を開き、情報・資料の提供をおこない、きめ細かな進路指導にあたった。</p> <p>(3)5月の連休、夏季休業、冬季休業に課題を作成し、復習、予習に取り組ませることで、継続的な学習体制を確立した。(国語)</p>	<p>(2)②早期に始まるAO入試などに対応した説明会の検討。</p>	<p>(学校評議員)</p> <p>授業研究のさらなる充実を期待したい。長期休業中の補習・講習をひきつづきお願いしたい。</p>	<p>(改善方策等)</p> <p>(2)①進路情報については、総合的な学習の時間の中でも指導ができるよう、年間指導計画を検討する。3年生については、進路のしおりを作成し、基本的な情報をまとめる。</p> <p>主体的に学習に取り組んでいく力を、積極的に育てていきたい。</p> <p>②授業評価を活用し、生徒の意見を改善に役立てていく。</p> <p>③サテライト講座参加者の満足度が高かった。引き続き、講座の選定などを工夫し、講座の充実を図っていく。</p>
<p><キャリア教育></p> <p>(1) キャリア教育の推進の強化</p> <p>(2) 部活動・生徒会活動・ボランティア教育・学校行事等を活性化させ、生徒の自主的・主体的な活動を推進し、汎用的能力の向上</p>	<p>(1)3年間を見通した進路・履修計画を作成し、総合的な学習・進路指導・履修指導を計画的に実施するとともに、生徒・保護者向けの進路や履修説明会、面談を定期的に実施する。また、実力テストの結果の活用、各種模試・検定等の日程を明示し、生徒の参加を促す。</p> <p>(2)①キャリア教育実践プログラムを改善し充実させる。</p>	<p>(1) 進路・履修計画作成の有無、進路や履修説明会の実施状況、実力テストの結果の活用状況、模試や検定への参加者数</p> <p>(2) ①キャリア教育実践プログラムの実施状況</p> <p>②進路・履修計画の活用状況</p> <p>③各教科でのシチズンシップの実施状況</p> <p>④校内の指導体制の検証</p>	<p>(1)</p> <p>3年間を見通した進路・履修計画を作成し、それに基づき総合的な学習・進路指導・履修指導を実施した。生徒・保護者向けの進路・履修説明会、面談を通じて、進路情報の提供を行い、個々の進路実現の支援にあたった。1、2年校内実力テストの結果報告会を教員・生徒向けに開き、テスト結果が学力向上につながるよう図った。また、模試の年間日程を示した結果、延べ参加者数が、3年校内模試146名、校外模試53名、2年校外模試68名となった。</p> <p>(2)</p> <p>①キャリア教育実践プログラムを学校全体の中での位置づけから鑑み、改善した。</p> <p>②3年間を見通した進路・履修計画を作成し、年度当初に生徒や保護者に提示した上で実施した。</p> <p>③各教科でシチズンシップを意識した生徒体験型の授業を展開した。</p>	<p>(1)進路・履修計画の検証を行うとともに、校内実力テストに対する生徒のモチベーションの向上や実施後の結果の有効活用などを検討する。総合学習の内容についても、検証を重ねる。</p>	<p>(保護者)</p> <p>懇談会に参加し、学校生活の様子がわかりよかったです。進路・履修計画を参考に、選択科目を考えることができました。</p> <p>(学校評議員)</p> <p>保護者説明会はいへん重要だと思います。学校からの大切な情報を迅速に伝達できるとともに、保護者のニーズを吸い上げる場としてください。</p>	<p>(学校評価)</p> <p>進路・履修計画に基づき、個々の生徒の進路希望に沿った指導を行うことができた。実力テストの結果の活用や、校内・校外模試の参加者の増加が図られた。</p> <p>(改善方策等)</p> <p>実力テストの結果のさらなる活用については、教員研修会等の内容や生徒や保護者との面談等について検討する。キャリア教育を推進するために、総合的な学習の時間の内容について、年間計画で十分検討する。</p>

学校目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価	学校評価
	具体的な手立て	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		
	<p>②3年間を見通した進路・履修計画を作成し生徒や保護者に周知し時宜を得た支援を行う。）</p> <p>③各教科でのシチズンシップ教育を充実させる。</p> <p>④部活動・生徒会活動・ボランティア教育・学校行事等の活性化に向けた校内の指導体制の改善を図る。</p>		<p>④部活動では年2回の部活の日を設け、部長としての心構えや活動場所・部室などの清掃などを指導した。生徒会では意見箱を活用し、全校生徒の風紀や学校行事に関する意見を集め、生徒会で議論、検討を行った。霧高祭では、音響設備の拡大や後夜祭の体育館活用など、生徒と連携を取って運営した。</p>	<p>(2)シチズンシップを意識した授業展開をさらに増やす。部長会などを活用し、部活同士の情報交換や横のつながりをつくる。また霧高祭では生徒の希望の多い飲食団体においての安全性を指導する機会を確保し、より充実感の増す文化祭にしている。</p>	<p>(保護者)</p> <p>部活の日というのがあったのですね。あまり何をやっているか知られていないようです。</p>	<p>(学校評価)</p> <p>(2)部活の日の取り組みは評価できるがもっと充実を図りたい。生徒会による意識調査や目標の設定な行い意欲を高める。</p> <p>(改善方策等)</p> <p>よりよい行事の運営のため生徒の声や意見をまとめ生徒会本部と協議して良いものを作っていく努力をする。</p>
<p><地域等連携></p> <p>地域に開かれた学校づくり、信頼される学校づくりの推進</p>	<p>① 学校説明会や学校紹介への生徒の参加を促し、生徒の情報発信力を高めるとともに、教育内容や生徒の活動がわかる広報活動を行う。平成26年度入学者選抜制度を的確に広報する。</p> <p>② ホームページ等での情報発信方法を工夫し学校の教育内容や活動を的確に伝える。挨拶励行・乗車マナー等、生徒のマナーアップなどを通して、保護者や地域の方の学校への信頼を高める。</p> <p>③ 学校内の整備・美化に努める。予算の有効活用を行う。</p>	<p>① 生徒の参加状況、説明会の来訪者数、情報発信の状況</p> <p>② ホームページの発信の状況、マナーアップの状況</p> <p>③ 校内の整備状況・美化の状況、予算の執行状況</p>	<p>①サマーセミナー、部活動見学会・第1回学校説明会、第2回学校説明会等において、生徒会役員を中心に、積極的に受付・案内・制服紹介などを行った。第2回学校説明会では、合唱部、吹奏楽部、ダンス同好会が参加し、生徒の活動がわかる広報活動を行い、来校者から好評であった。企画会議の提案により、本校生徒が出身中学校を訪問し、学校説明会のポスターを渡しPRする、霧高メッセージの活動を開始し、生徒の情報発信力を高めるとともに、広報活動の強化を行った。平成26年度入学者選抜制度については、本校での学校説明会、中学校での説明会、中学校訪問等を通じて、丁寧に説明を行った。部活動説明会・第1回学校説明会来校者844名(昨年940名)、第2回学校説明会来校者332名(昨年308名)、第3回学校説明会来校者545名(昨年438名)。</p> <p>②見やすい構成と迅速な情報発信を目指し、ホームページの全面的改訂を行った。ITセンターを中心とした、継続的なホームページ運営の体制づくりを、開始したところである。特に部活動の情報については、毎週更新を原則とし、最新の情報を的確に伝えられるように努めている。</p> <p>②ホームルーム・集会等で、ことあるごとに生徒にバス乗車・自転車乗車・携帯の使い方、インターネット等の注意を行った。</p> <p>③学級増に伴う教室配置、教室整備に取り組み26年度への態勢づくりを行った。各教室にプラスチック用のゴミ箱を設置し、分別等に向けた取り組みを強化した。</p>	<p>①学校説明会来校者には、本校生徒のいきいきとした活動にふれてよかったという声が多く、今後も学校説明会等への生徒参加を促していく。学校説明会をさらに魅力的なものにするため、内容、構成、映像などの再検討を行う。</p> <p>②ホームページの内容の充実と、細かい運営方法の確立が今後の課題である。ITセンターを核とした機能的なシステムにより、迅速で的確な情報発信ができるように、工夫していきたい。</p> <p>②近隣の方からの苦情は昨年度より減ってはいるが、ゼロを目標に努力していきたい。</p>	<p>(保護者)</p> <p>ホームページが改善され、見やすくなりました。情報の更新を頻繁にやっていただくと、助かります。</p> <p>40周年記念行事として、老朽化したトイレの大規模な改修が予定されているとのこと。よろしくお願いします。</p> <p>(学校評議員)</p> <p>ITセンターの設置など、情報発信の環境整備が行われています。ホームページの内容を充実させることで、さらに開かれた学校づくりを目指していただきたい。</p> <p>ゴミの分別に対する取り組みなど含め今後も教育環境の整備に尽力いただき、生徒の学校生活をサポートしてください。</p>	<p>(学校評価)</p> <p>②ITセンターを中心にホームページ改善を行うことで、よりわかりやすい情報発信が実現された。</p> <p>③校内美化に努め生徒の学習環境作りが図れた。</p>

学校目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価	学校評価
	具体的な手立て	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		
<p>< 学 校 運 営・学校管理 ></p> <p>(1) 事故・不祥事防止を徹底し、教職員の実践指導力の向上</p> <p>(2) 生徒の安全意識を高め、防災や安全対策の一層の強化</p>	<p>①教員のリスク意識を高める研修を実施する。</p> <p>②OJT の効果的な方法について検討し、実践する。</p> <p>(2)防災マニュアルの改善、生徒の安全意識を高める防災教育を実施する。</p>	<p>(1)①事故不祥事防止研修の実施状況及び効果の検証</p> <p>②OJTの効果的な方法の検証</p> <p>(2)防災マニュアルの有効的な活用の実施状況、防災教育の実施状況</p>	<p>(1) 1 学期末、テスト前に成績処理についての研修を行い、効果をあげた。</p> <p>(2) 職員全員に防災マニュアルを配布し、一人ひとりの役割分担の確認を含めて説明を行った。また 8 月 29 日に全校で防災訓練を実施し、帰宅経路の同じ方面同士で集まり、有事の際の確認した上でリーダー等も決定した</p>	<p>(2)次年度は、今年度と異なる内容の防災訓練を実施し、有事の際に生徒自らが命を守る行動をとることができるようにする。</p>	<p>(保護者)</p> <p>家庭でも引き続き、子どもの命を守る取り組みを行っていきます。</p> <p>(学校評議員)</p> <p>生徒の安全を守るために、防災訓練・防災教育のより一層の工夫と継続指導をお願いします。</p>	<p>(学校評価)</p> <p>(2) 3 年前の震災を忘れずに、防災教育を行えた。</p> <p>(改善方策等)</p> <p>(2)訓練内容を精選し、一層安全意識を高めたい。</p>